

シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE33081	
科目名	国際感染症学	
科目名 (英語)	International Aspects of Infectious Diseases	
授業形態	講義・演習	
標準履修年次	3, 4年	
実施学期・曜時限等	5月15日, 16日, 22日, 23日, 30日 (1, 2限)	
使用教室	4B115	
単位数	1単位	
担当教員名	竹内薫、福重瑞穂	
備考	実務経験教員名：竹内薫、福重瑞穂	
使用言語 (☑してください)	☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	上田遥菜 (TA)	
オフィスアワー等	竹内薫：医学医療系棟3階4G-333・3472・ktakeuch@md.tsukuba.ac.jp (随時、ただし電話またはメールで在室を確認)	
学位プログラム・コンピテンス との関係	汎用	1. コミュニケーション能力 4. 広い視野と国際性
	医療	2. 人間の健康と疾病の理解 3. 臨床検査の知識と実践力
	国際	2. 人間の健康と疾病の理解 3. 臨床検査の知識と技術 5. 国際課題の理解と対応立案能力
授業の到達目標 (学修成果)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際感染症に関する情報収集をし、さらに得られた情報をもとにプレゼンテーション作成・発表する能力を身につける 2. 海外渡航・駐在の際に重要になる渡航前、渡航期間中の感染症予防法、輸入感染症について理解する 3. 寄生虫疾患に関する知識 (診断方法、治療方法、予防方法) を身につける 	
他の授業科目との関連	特になし	
履修条件	なし	
授業概要	<p>国際的に問題となる感染症の疫学や臨床病態の講義を行う。特に、寄生虫疾患に関しては、昆虫、ダニが媒介する感染症も含めて、その検査法・予防法・治療方法について詳しく解説する。</p> <p>現在、問題となっている国際感染症について各グループでテーマを決め情報収集を行い、得られた情報を基にプレゼンテーションを行う。</p>	
キーワード	国際、感染症、寄生虫疾患、グループワーク、発表	
授業計画	<p>第1回&2回 (5月15日)</p> <p>竹内薫【実務経験教員：国立感染症研究所勤務、ワクチンの国家検定・行政検査・サーベイランス、地方衛生研究所・ワクチンメーカーへの感染症に関する技術指導など経験者】</p> <p>「国際感染症概論」の講義を行い、さらに、感染症に関する</p>	

	<p>グループワークのガイダンスを行う。</p> <p>第3回～7回（5月16日、22日、23日） 福重瑞徳【実務経験教員：海外事務所駐在（ベトナム）、寄生虫疾患に関する疫学調査（バングラデシュ、ジンバブエ）経験者】 国際社会で重要となる「蠕虫類」「原虫類」「昆虫、ダニが媒介する感染症」について講義する。</p> <p>第8回（5月23日） 竹内薫【実務経験教員】 グループワークの作業を教員、TAのサポートのもとに行う。</p> <p>第9回～10回（5月30日） 竹内薫【実務経験教員】 グループワークの発表を行い、教員が採点する。</p>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義（60%）、演習（40%） 感染症に関するグループワークの課題について、情報収集を行い、プレゼンテーションを作成する。
単位取得要件	6割以上の出席 グループごとの発表準備・発表 期末試験における及第点
成績評価方法	グループワークのプレゼンテーション、および期末試験の点数に基づいて評語（A+～C）で評価する
教材・参考文献・配付資料等	教材はmanabaあるいは紙媒体で配布する。 https://manaba.tsukuba.ac.jp/
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	第2回（5月15日）の講義には情報収集用の機器（スマートフォン、タブレット端末、ノートパソコンなど）を持ってくること。 第8回（5月23日）の講義には発表用スライドを作成するための機器（ノートパソコンなど）を持ってくること。